

CT診断の普及を目指して――

# 十河か〜ゆく

聞き手：十河 基文（そごう もとふみ）

大阪大学歯学部招聘教員（歯科補綴学第二教室）  
 株式会社アイキャット 代表取締役 CTO  
 研究開発や臨床の傍ら CT 診断普及を目指して東奔西走中



訪問先

宮崎歯科診療所  
**宮崎正憲先生・隆浩先生（三重県ご開業）**

宮崎正憲先生：  
 スタディクラブはまゆう会会長  
 CEセミナー・アドバンスコース補綴担当講師  
 国際歯科外傷学会(IADT)会員、AAP会員

今日は、三重県でご開業の宮崎正憲先生の診療所にお邪魔いたしました。診療所は津駅前にあり、ご子息の隆浩先生とお二人で診療をされていらっしゃいます。

正憲先生は十河と同じ補綴のご出身ですが、インプラントはもちろん骨移植などの大きな外科処置をご自分でされるだけでなく、矯正もご自分でされる先生なのでどんなお話を聞けるか楽しみです。

## 1 の外傷を主訴

**十河：**早速ですが、症例を拝見できますでしょうか？

**正憲：**1に外傷を受けた症例です。残念ながら歯根は完全に破折し、抜歯しか方法がありません。しかし側貌観からわかるように、123は反対咬合なので、簡単には補綴ができませんでした。



口腔衛生状態をコントロールした後、反対咬合の改善のため23を舌側に移動しました。臼歯部のブリッジ除去に同意が得られなかったため、4の近心延長ポンティックを削ってスペースを確保し、同時に2も移動しました。

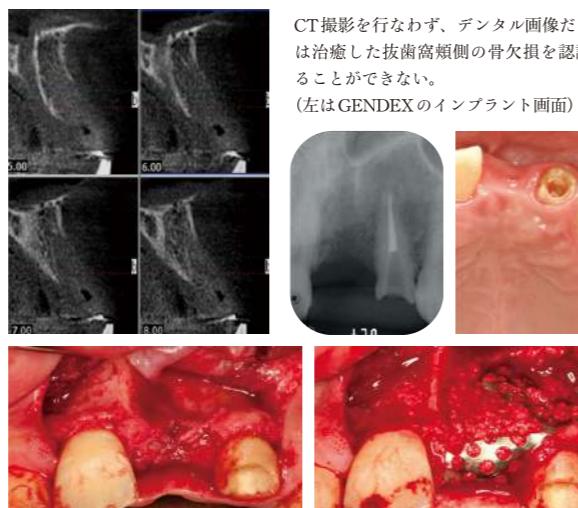


続いて下顎前歯部の圧下移動を行い、下顎前歯部の歯肉歯頸ラインを整えるために歯周外科処置を行いました。

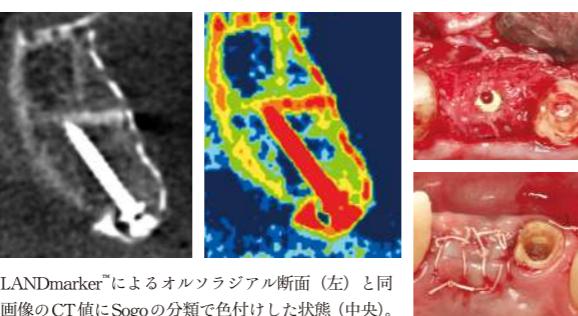
そして、いよいよ1部の処置に移ります。



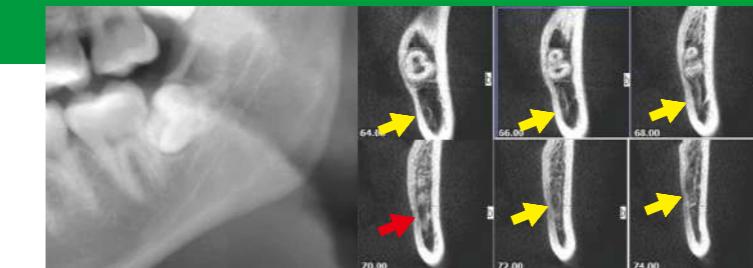
GENDEXで撮影したCT画像から唇側の骨欠損を確認し、チタンメッシュを用いて骨移植を行いました。



骨移植約1ヶ月後のインプラント埋入前に、再度CT撮影を行いました。現存するどのCT装置でも移植骨と既存骨の正着までは判断できないでしょうが、CT値により骨質を参考にできるのでGENDEXは有効です。



十河がゆく Vol.3 (Jun, 2011)



左) 左側下顎8番のパノラマ画像。根尖と下顎管は近いが2次元画像では読影限界がある。  
 右) CT画像では、赤矢印の根尖部で最も下顎管と歯根が近接していることがわかる。  
 どの方向に力を入れると下顎管を圧迫するかが、事前に予測できる。



撮影モードの違いによるGENDEXのFOVをボリュームレンダリングで示す：左) φ8.5cm 右) 下顎の水平埋伏智歯や頸関節も読影できるφ14cm

は高額なため、一般的に大きなパネルの採用はコスト的に見合わないと考えられます。そのため多くの機種では、歯列の最遠心である7番までを意識した直径8cm前後のFOVが多いと思います。しかし、最近では「ステッチ機能」や「オフセットスキャン」といった医科には無い歯科特有の再構成技術を用いて、同じ大きさの検出器でも広いFOVを撮影できる機種も増えています。「ステッチ機能」は複数のCT撮影を合体させるため撮影時間が長くなり、患者の動きが懸念されます。しかし、GENDEXは検出器をずらして撮影する「オフセットスキャン」によって同じ時間で広範囲を撮影できるため、その有効性を感じていただけていること思います。

今日は長時間ありがとうございました。

■ 次回の訪問先：山羽 徹先生（大阪府枚方市ご開業）

## 水平埋伏智歯抜歯へのストレス

**十河：**続いて、隆浩先生にお聞きします。隆浩先生はCTで診療が変わりましたでしょうか？

**隆浩：**何といっても、8番抜歯の精神的ストレスが軽減しました。これまで、パノラマ上で下顎管に歯根が食い込んでいたりまた近接していても、結局パノラマでは正確な位置関係がわかりませんでした。しかし、GENDEXは直径14cmという水平埋伏智歯の根尖も十分に入る大きなFOV (field of view, 撮影視野)を持つ撮影モードがあるので事前に下顎管と根尖の位置関係が三次元で把握でき、今では安心して抜歯に臨めるようになりました。

**十河：**なるほど。私から、最近の歯科用CTのFOVについてもう少し説明したいと思います。歯科用CTの検出器

株式会社アイキャット

iCAT Osaka: 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-19-15第3三ツ矢ビル8F TEL: 06-6886-7299 (代表) FAX: 06-6886-7298  
 iCAT Tokyo: 〒105-0021 東京都港区東新橋2-10-10 東新橋ビル2F

**iCAT**  
Science for you